

記入例

- 黒か青のボールペンでご記入下さい。(消えるボールペンでの記入はご遠慮ください)
- 記入を間違えた際は、訂正線と訂正印で修正をしてください。(修正テープ等の使用は無効になります)
- 特例申請書は自治体に複数回寄附をする度に必要です。(複数口をまとめて書くことはできません)

第五十五号の五様式（附則第二条の四関係）

市町村民税 寄附金税額控除に係る申告特例申請書
府県民税

提出日を記入してください。

個人番号(マイナンバー)を記入してください。

令和 xx 年 4 月 1 日 山梨県韮崎市長 殿	整理番号 ○○○
住所 〒○○○-○○○ ○○県○○区○○町○○丁目○○番地 マンション○○	フリガナ フルサト タロウ 氏名 故郷 太郎 捺印
電話番号 00-0000-0000	個人番号 1 2 3 4 1 2 3 4 1 2 3 4 性別 男
	生年月日 昭和○○年○月○日

印字された住所・氏名・フリガナ・生年月日に誤りがないかご確認ください。

※記載されている住所は申請時のものです。転居等の理由により個人番号確認書類、本人確認書類に記載された住所と違う場合は再発行いたします。お問い合わせ下さい。

捺印をしてください。

(注1) 上記に記載した内容に変更があった場合、申告特例対象年の翌年の1月10日までに、申告特例申請事項変更届出書を提出してください。

(注2) 申告の特例の適用を受けるために申請を行った者が、地方税法附則第7条第6項(第13項)各号のいかに該当する場合には、申告特例対象年に支出した全ての寄附金(同項第4号に該当する場合には前項の適用は受けられなくなります。その場合に前項控除に関する事項を記載した確定申告書又は

ご寄附年月日、金額に誤りがないかご確認ください。

1. 当団体に対する寄附に関する事項

寄附年月日	寄附金額
令和××年3月21日	20,000円

2. 申告の特例の適用に関する事項

申告の特例の適用を受けるための申請は、①及び②に該当する場合のみすることができます。①及び②に該当する場合、それぞれ下の欄の□にチェックをしてください。

① 地方税法附則第7条第1項(第8項)に規定する申告特例対象寄附者である

(注) 且 **※「確定申告をする必要のない」方がふるさと納税によるご寄附をした場合はチェック** される者を行います。

- (1) 地方団体に対する寄附金を支出する年の年分の所定申告書を提出する義務がない者又は同法第121条(第1項)に規定する者である。
- (2) 地方団体に対する寄附金を支出する年の翌年の4月1日までに、当該寄附金に係る寄附金税額控除の控除を受ける目的以外に、市町村民税・道府県民税の申告書の提出(当該申告書の提出がされたものとみなされる確定申告書の提出を含む。)を要しない者。

①と②どちらも該当する場合のみ、ワンストップ特例の申請が可能です。

② 地方税法附則第7条第2項(第9項)に規定する要件に該当する者である

※その年のふるさと納税のご寄附先が「5自治体」以下の場合のみチェック(ご寄附回数ではありません)

当該寄附金に係る寄附金税額控除の控除を受けるための申請を行う地方団体の数の数が5以下であると見込まれる者を行います。

印字された住所・氏名に誤りがないかご確認ください。

※記載されている住所は申請時のものです。転居等の理由により個人番号確認書類、本人確認書類に記載された住所と違う場合は再発行いたします。お問い合わせ下さい。

申告特例申請書受付書

住所	○○県○○区○○町○○丁目○○番地マンション○○	受付日付印
氏名	故郷 太郎 殿	

整理番号：○○○

受付団体名	山梨県韮崎市
-------	--------